



国際戦略局技術政策課  
研究推進室先端研究係係長

中山 崇  
NAKAYAMA TAKASHI

平成21年 4月 総務省採用  
情報流通行政局放送技術課  
平成23年 9月 総合通信基盤局電波部電波政策課  
平成24年 4月 大臣官房企画課個人番号企画室  
平成26年 8月 総合通信基盤局電波部基幹通信課  
平成27年 8月 総合通信基盤局電波部基幹通信課主査  
平成28年 4月 情報通信国際戦略局宇宙通信政策課衛星開発係長  
平成29年 9月 国際戦略局宇宙通信政策課衛星開発係長  
平成30年 8月 現 職

## 10年後、50年後の未来を創造する

### 世界の「言葉の壁」をなくす

突然ですが、みなさんは何か国語の「こんにちは」を話せますか。

近年、何気ない日常の中でも様々な国の言葉が聞こえるようになりました。訪日外国人や在留外国人と接する機会が増加する一方、異なる言語でのコミュニケーションに壁を感じる方が多いのではないのでしょうか。

総務省では、世界の「言葉の壁」をなくし、グローバルで自由な交流の実現に向け、平成27年度から5年間、多言語音声翻訳技術の翻訳精度向上や社会実装に向けた研究開発を推進してきました。また令和2年度から、AIによる多言語同時通訳の実現等に向けた研究開発を推進します。

研究開発の推進に当たり、予算の確保や執行管理、研究開発の進捗管理等を行います。政府予算は毎年度編成されますので、次年度の実施内容を踏まえて財政当局と折衝を行います。また、経理検査を行い、適切に経費が支出されているか確認します。こうした仕事を通じて、技術の誕生・発展に立ち会えることが魅力です。

### 多種多様な業務に携わって

私は、放送・情報通信・郵政行政の区分で採用となり、これまでに、地上デジタル放送の日本方式(ISDB-T)の海外展開、電波の利用状況調査、気象レーダーの許認可、衛星通信に関する研究開発の推進、多言語音声翻訳に関する研究開発の推進と、入省してから様々な業務に携わってきました。また、区分を超えて、マイナンバー制度の実施に関するシステムの開発にも携わったことがあります。

多種多様な業務に携わる中で、多くの経験を得、成長する機会があることが総務省の魅力だと感じます。

みなさんが何気なく過ごしている日常生活にも密接に繋がっている業務を通じて、より良い未来にするためには今のようなもの・ことが必要か、想像から創造へと常に新しい技術や発想を学び続け、行動・実現していくことにやりがいを感じます。

### Q 大学で学んだことで役に立ったことは？

A 私は、大学時代、化学を専攻していました。キニーネの全合成やカーボンナノチューブのカイラリティに関する議論などの大学時代に学んだ専門知識が、放送・情報通信・郵政行政に携わる上で役立ったと感じたことは、残念ながらありません。むしろ、目標達成や問題解決のための情報収集や分析能力、順序立てて論理的に解を導き出す姿勢などが役立っています。

### Q 就職活動を行う人へのメッセージ

A 自らの将来を決める非常に大事な時期であり、不安を感じることもあると思います。自分がやりたいことが何かを今一度整理し、その分野で求められていることが何か、自分の長所・短所は何かを分析してみましょう。彼を知り己を知れば百戦殆うからず。ざっとよい結果が得られることでしょう。

Private Time

それは、日本古来より嗜まれ、満20歳に至らない者が飲むことを禁じられており、米、米こうじ及び水を原料として発酵させて、こすなどによってできる飲み物。原料は元より、土地や気候などの違いにより、味も香りも異なる奥深い飲み物。数多の銘柄から、人生に色を添える日本酒を、家族や友人とともに、日々、探求しています。

